

【日本ALS協会からのお知らせ】災害用伝言ダイヤル「171」を体験してみましょう

近年、地震や大雨などの自然災害が各地で発生しています。

災害時には、電話がつながりにくくなり、ご家族や支援者、医療・介護関係者との連絡が取りにくくなる場合があります。

特にALSなど、日常的に医療や介護を必要とする方にとって、災害時の連絡手段をあらかじめ確認しておくことはとても重要です。

日本ALS協会（JALSA）災害対策部では、災害対策の一環として、NTTの**災害用伝言ダイヤル「171」**の活用を推奨しています。

災害用伝言ダイヤル「171」とは

大規模な災害が発生した際に、電話を利用して安否情報などの伝言を「録音」「再生」できるサービスです。

災害が起きてから初めて利用するのではなく、平常時の**体験利用日**に、ご本人・ご家族・ヘルパー・支援者の皆さままで実際に使い方を確認しておくことをおすすめします。

体験利用提供日

- ・毎月1日・15日 00:00～24:00
- ・正月三が日 1月1日 00:00～1月3日 24:00
- ・防災週間 8月30日 9:00～9月5日 17:00
- ・防災とボランティア週間 1月15日 9:00～1月21日 17:00

現在の防災週間も体験利用期間となっています。

この機会に、ご家族や支援者と一緒に「171」の使い方や、災害時にどの電話番号を利用して安否確認を行うのかを確認してみてください。

ALS患者・ご家族の皆さまへ

人工呼吸器や吸引器、意思伝達装置などを使用している方は、停電への備えだけでなく、「**災害時に誰と、どのような方法で連絡を取るか**」を事前に決めておくことも大切です。

ぜひこの機会に、災害用伝言ダイヤル「171」の体験利用とあわせて、ご家庭の災害時の連絡方法について確認しておきましょう。

日本ALS協会
災害対策部からのお知らせ